

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	石田保育園	施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

令和6年3月11日

総 評	<p>社会福祉法人京都社会福祉協会は、現在22か所の保育園、17か所の児童館を運営している大規模な法人で、園長会などを通じた情報共有や課題解決などができる仕組みがあります。また、法人のスケールメリットを生かした保育人材の確保や教育、人員配置を適切に実施できる取り組みもなされています。</p> <p>法人本部は市内中心部にあり、市内各地にある保育園や児童館との連携を密接に行うようにしておられ、各事業所の経営については、法人本部で把握し管理する仕組みになっています。その為、予算要望等を出しても法人内の各事業所の実情に応じて優先順位を決めざるをえない状況になっています。</p> <p>一方、保育園は管理職をはじめ職員が保育に専念できる体制がとられています。今後は経営と運営の流れをどのようにスムーズにつなげていけるかが課題であると考えておられます。</p> <p>法人が運営する22か所の保育園の1つである石田保育園は、昭和47年に開園された保育園で、自然が豊かな京都市の南東部にあります。保育園の隣には市営住宅や一戸建ての住宅が隣接しており、地域の中に溶け込んだ建物となっています。市内南東部は、以前は子育て世帯が多く住んでいた歴史から保育園数も多く、地域の保育園のネットワークがあり、各園での取り組みが一覧で記載された地域情報誌なども発行されています。</p> <p>石田保育園は歴史も古く、何世代にもわたって地域の子育てに寄り添っておられます。建物の老朽化は避けられない状況ではありますが、コーナー保育や近隣の自然を生かした保育を実践されています。</p> <p>2023年度には、感染症の流行で中断となっていた行事等も保護者アンケートを取り意見を聞きながら再開も進められていました。</p>
-----	--

特に良かった点(※)

**○経営課題を明確にした具体的な取り組みの実施**

法人本部にて財務状況の把握、設備状況、職員体制等を一括して把握し、各園の課題や問題点を明確にしています。法人本部で把握された課題や問題点は、各園の園長と共有をして課題解決に向けて取り組んでいます。補助金の申請については、各園と法人本部が連携を取りながら行っておられます。試算表を本部で作成して各園にデータ送信したり、園長会では園長に帳簿の見方を伝えたりと、本部と各園が連携をしながら安定した経営に取り組んでおられます。

石田保育園がある地域については、保育園の数も多く、以前は待機園児が発生する地域でしたが、近年は他の園も定員割れが生じている状況であることから、本部で近隣の保育の状況を把握したうえで中長期計画の策定につなげています。

**○福祉人材の確保と人事管理**

京都市内に22か所の保育園を運営する大規模法人のメリットを生かした人材の確保と事業運営を行っています。京都府の認証制度の認証事業所を取得し、社会的にも評価を得ることで福祉人材の確保に努めています。常勤職員の採用は法人本部で行い、クラス数等に応じ必要な職員を各園に配置しています。非常勤職員については各園の園長に採用の権限があり、相互で連携をして職員の適正な配置を実現しています。その中で組織の活性化や人材育成の観点から定期的に人事異動を行い、保育の質の向上につなげています。園長会の中には人材確保や人材育成の委員会もあり、法人が一丸となって人材の確保と育成に努めています。

**○食事に関する取り組み**

子どもたちの成長に大切な食事について自然な形で「食」への興味を持てるような取り組みをされています。具体的にはきのこが好きでない子どもが多くいる事への取り組みとして園内でキノコを栽培し、きのこの生育を子どもたちが毎日観察をして、収穫後は食事として提供することできのこが食べられるようになる、という取り組みをされていました。また、梅干しやみそなどを作って食事に取り入れたり、正月の白みそやなます、たたきごぼうなどの季節の食材、献立を取り入れたりしています。子どもの「おかわりください」や「減らしてください」等の個人差への対応も行い、子どもたちへの「食」への取り組みが充実していると感じました。

特に改善が  
望まれる点(※)

### ○利用者が苦情や意見を述べやすい体制

苦情解決実施要綱に則り、苦情解決責任者、担当者、第三者委員についてはしおりに記載しています。また、苦情の受付や内容を記載する書式については法人で統一されたものがあり、苦情や要望等を受けた際には職員会議で検討を行い、利用者にフィードバックを行っています。さらに、内容によっては法人事務局に即時報告を行い、法人全体で共有を行う仕組みもあります。しかし、園においては苦情責任者や苦情担当者、第三者委員の連絡先等が記載されたものが掲示されてはいませんでした。利用者が苦情や意見を述べやすい為にも目につく場所に苦情責任者や受付者、第三者委員の連絡先を掲示するようにしてください

### ○実習生等保育に関わる専門職の研修・育成についての体制整備

保育等の実習生の受け入れの実績はありませんが、園ごとに実習生受け入れマニュアルを作成しているとのことでした。基本的には、学校からのプログラムに準拠して対応を行うようにすることになるとのことでしたが、園としての実習プログラムは作成されていませんでした。また、実習などの窓口は主任が行う事になるとのことでしたが、指導者への研修等も行われていませんでした。

各保育園にとって、保育実習等を受け入れる事は保育人材の育成と共に現場の保育士等にとっても学びの機会になると思われますが、法人においても実習生の受け入れや実習生の受け入れを充実させることは、社会的責務を明確にしていく事になります。各園の状況に応じた実習マニュアルとは別に法人共通で専門職種の実習プログラム等を作成される事により、業務の合理化につながると考えます。22か所の保育園を運営する法人においては法人のスケールメリットを生かし、法人共通の実習マニュアルや実習プログラムのひな型等を作成する機会を設けられることをご検討下さい。

### ○保育園の取り組むべき課題の明確化と改善への取り組み

法人で業務監査や会計監査を実施し、園長会で法人事務局から解決すべき課題や改善点の説明を行っています。また、園長会や主任会議で課題を共有し職員会議でも情報を共有しています。その上で課題の改善に向けて取り組むようにはしていますが、計画的に取り組んでいる書面が確認できませんでした。課題によっては早急に改善ができるものから長期的な改善のプロセスが必要なものなど様々であることから、計画的、且つ確実に課題の解決が進められるように書面を作成してください。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	石田保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会
訪問調査日	2023年11月20日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
1. 「子どもの権利を尊重するための私たちの保育」の理念とともに、保育の方針「豊かな人間性と生きる力の基礎を身につけた生き生きとした子どもになることを目標に『丈夫で体力のある子ども』『親切で思いやりのある子ども』『元気よく友達と遊べる子ども』に育てる」はリーフレットに明文化されています。園のおしりやホームページにも掲載されています。これらは職員会議において読み合わせもされており、保護者懇談会において説明がされています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
[自由記述欄]					
2. 事業経営に関わる管理は基本的に法人本部事務局を中心に実施しています。国や京都市の施策の動向に注視し、地域のネットワーク会議や研修などを通じた情報収集を行い、状況把握や分析に努めています。また利用者数の推移や他園の状況などの情報は会計管理に活かされ、分析資料は本部から各園に送付され、園長会で説明が行われています。					
3. 本部事務局では会計管理を通じて経営課題を明確化し、定例理事会での状況報告・情報交換の後、施設長会を通じて月1回の職員会議で職員への周知を図っています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
[自由記述欄]					
4. 現在法人本部事務局において、中・長期事業計画・収支計画共に策定中です。施設老朽化による整備計画やICTによる事務軽減化など経営に直結する事項については、補助金の動向などに注視しながら策定しています。保育の質にかかわる事項については、管理職養成計画や階層別職員研修などを通じて活動計画の策定も検討しています。					
5. 単年度計画は数値的には予算書、内容的には園ごとの事業計画という形で策定していますが、中・長期計画を意識した内容とはなっていませんでした。また事業計画は主に行動計画としての内容が強く、数値目標や具体的な成果を設定した内容にすることの検討が必要です。					
6. 職員とのヒヤリングや職員会議等での意見を集約し、次年度事業計画に反映しています。計画策定後は回覧にて周知を図っていますが、職員への説明ができておらず周知が不十分でした。					
7. 年度初めに保護者との懇談会で行事予定の資料を配布・説明しています。欠席者には個別の対応もしていますが、事業計画としての内容の記載がありませんでした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	b
[自由記述欄]					
8. 毎年度末に事業の実施状況、利用者ニーズの振り返りを行い、それを次年度の事業計画に盛り込んでいます。また「保育環境評価スケール」の評価や課題等を共有し、自園での評価や法人内の他園からの評価も年1回(12月)実施しています。さらに本部事務局の業務監査・会計監査も受診しています。					
9. 本部事務局による業務監査・会計監査の評価結果に基づく課題と改善点を園長会で共有し、これを園の職員会議等で説明することで情報共有や改善策の検討に生かしています。しかし、その後の改善状況の記録が文書化されていません。					

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

10. 「組織規程」「施設長等就業規則」など諸規程を設け、園長の経営・管理に関する取組を明文化しています。また「施設運営等管理規則」等により、園長の果たすべき役割を明示していますが、各職種の明確な職務分掌は確認できませんでした。有事における園長の役割と責任については、危機管理（防災・防犯）マニュアルにおいて、非常時や園長不在時の対応について定めています。

11. 「施設運営管理規則」を定め、事務所に保管していつでも閲覧できるようにしています。法人の理念である子どもの権利の尊重については、リーフレットを策定し職員会議で職員の意思統一を図っています。毎年、法人主催で管理職や職員に対して、ハラスメント防止や外部講師によるコンプライアンス研修を実施しています。園長は職員会議で伝達を行い周知を図っています。

12. 法人の課題を「人材育成・人材確保・安全衛生管理・施設経営」の観点で再編し、園長同士の交流により課題解決に努めています。職員に対しては職員会議等での日々の情報共有を行うほか、年2回のヒアリングを行うことでアドバイスの場を設けています。また階層別研修やキャリアアップ研修などへの積極的参加も推奨しています。

13. 定期的な人事異動（常勤は法人本部、非常勤は園で決定）を行うことで、施設に必要な職員配置への配慮や福利厚生の実現を検討しています。園長会でリスクマネジメントなど4つの専門委員会を設置して人事、労務、財務等に関する情報共有や課題解決を行っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・ 育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりにも取組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

14. クラス数に応じて必要な人員を配置する方針を定めており、法人で22保育園を運営するスケールメリットを生かした人材育成を行っています。法人就職説明会の定期的開催、京都府の「きょうと福祉人材育成認証制度」の取得などのブランド力の強化も行っており、評議員の所属する大学からの紹介もしやすい求人環境づくりに取組んでいます。

15. 職員の施設間異動方針を定め、法人内での職員の異動履歴を一元化で管理しています。職員に対する理念や基本方針の周知のほか、階層別研修やキャリアパスの仕組みづくりも行っています。

16. 各職員の就業状況の把握を行い、女性の育休取得率100%や男性の育休取得の向上など、法律に定める基準を上回る充実した福利厚生制度を導入しています。ハラスメント相談窓口の設置、法人地域を4ブロックに区分したブロック内の交流会の実施など組織内外の交流を通じた職場環境の改善にも取組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・ 育成	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

17. 年2回の職員面談を実施しています。初回の面談時に自己評価票を提出してもらい、自身の年間目標を設定し、園長による助言や人事異動に係る聞き取りも行っています。年度末の面談に際しては、目標の進捗状況、達成度について確認を行うようにしています。

18. リーフレットに定める理念や保育方針の周知の他、主任保育士については「主任保育士会開催要項」を定め、主任に対する役割を定めています。階層別の年度研修計画（新規、中堅、組織）で各階層に求められる役割を研鑽する他、キャリアアップ、コンプライアンス、保育環境評価スケールなどの研修を行っています。

19. 人事データに研修受講履歴を記録しています。研修計画は階層別、時事、施設状況等必要に応じたテーマを設定して実施しています。資料の回覧等積極的に研修に受講できるように配慮しています。

20. 直接園に実習生の受け入れ依頼があるため、本部ではマニュアルの作成はなく、園ごとで作成しています。基本的に学校からのプログラムに準拠しており、窓口は園の主任が行っています。現在は園での受け入れ実績はなく、実習生の研修・育成について園としての社会的責務としての方針等は定められていません。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a

[自由記述欄]

21. 理念、基本方針、事業報告、決算報告などはホームページで公開しています。このほか、園内やおたよりに保育園の活動の様子や苦情相談窓口についても掲載しています。おたより（園だより）は毎月配布し、園内に掲示しています。地域への活動報告は地域にある保育所等の活動が記載されている地域情報誌に掲載しています。

22. 内部監査担当者を選任し、内部監査を実施しています。指摘事項は園長会で情報共有し、その都度改善に努めています。そのほか会計監査法人による監査を受診しており、指摘事項は内部監査と同様に対応しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b	
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	b	
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
		Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
			27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

23. 近隣保育園や児童館と連携をし、人形劇等の催しを年に1回しており、交流の機会を定期的に設けていました。地域との関わり方についての基本的な考え方の文書化はされていませんでした。

24. コロナ禍では出来ていませんでしたが昨年度からは中学生のチャレンジ体験（職場体験）の受入れを再開していました。しかし、受入れについての一定の注意事項や配慮すべき点等の指導資料はありましたが、マニュアルの整備はされていませんでした。

25. 地域の社会資源リストを作成し、職員に周知しています。権利侵害等疑われる場合は児童相談所より情報提供があり保育園から報告をする等の対応を行いました。

26. 保育園の専門性を活かして絵本の読み聞かせを行ったり、園庭開放等を地域情報誌に記載したりし、広く地域の子育て家庭との交流を行っていました。また、毎年地域の消防団が来所し「消火・避難訓練」を実施しています。

27. 地域で毎年秋に開催される「ふれあいプラザ」というイベントに参加していました。地域の関連機関との連携を通じて地域ニーズの把握に努め、実績は無いものの、地域住民に対する相談窓口も設置していました。しかし、把握したニーズに基づいた具体的な事業・活動について計画等での明示はされていませんでした。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b



[自由記述欄]	
28.	保育の理念や基本方針は「子どもの権利を尊重するための私たちの保育」にて分かりやすく明示してあります。研修では事例検討を元にグループワークを行ったり保育に対する職員のセルフチェックを行い、組織内で共通の理解ができる取り組みが行われています。
29.	「子どもの権利を尊重するための私たちの保育」に子どものプライバシー保護について記載し、職員の理解が図っています。規程やマニュアルも整備しています。
30.	地域の絵画展で写真付きで石田保育園を紹介し、ホームページやパンフレットも写真や絵を使用して分かりやすく紹介しています。保育見学は随時受け入れを行い、今年度は3名ほど対応した実績があります。園を紹介するパンフレットの内容は随時更新し最新の情報を提供できるようにしています。
31.	保育の開始・変更にあたり重要事項説明書を元に説明をし、同意を得ています。特に配慮が必要な保護者についてはルール化されており個別で丁寧な説明が行われています。
32.	保育園等の変更にあたり、保育の継続性が損なわれないように変更先と連携を図っています。しかし、手順と引き継ぎについての文書化はされていません。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	a

[自由記述欄]	
33.	苦情解決の体制は整備され、重要事項説明書にも記載があり、保護者にも周知されていました。しかし苦情解決の仕組みを分かりやすく説明した掲示物は確認できませんでした。
34.	行事毎にアンケートを実施し、保護者が相談や意見を述べやすい環境の整備に努めています。
35.	保護者からの相談や意見に対して対応マニュアルを整備し、法人統一の細かい相談や意見も記載しやすい書式に変更を行っています。受けた意見や相談はすぐに園長に報告がされていました。法人内の各園で対応出来るように分かりやすい報告様式に見直し、迅速に対応が出来るようにしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]	
36.	リスクマネジメント委員会を設置し、危機管理マニュアルにより対応手順が定めています。不審者対応やAEDの利用等の研修も充実しており、避難訓練と消火訓練は毎年実施しています。
37.	感染症対策についてはリスクマネジメント委員会で一括管理しています。写真付の詳細なマニュアルを整備し、適切な対応がなされています。感染者が発生した場合には手紙等で情報提供をし、保護者に協力を依頼していました。
38.	災害時の対応体制を整備しています。非常用備蓄品についてはリスクマネジメント委員会で検討し「水・クラッカー・ごはん」等リスト化をして管理しています。備蓄内容については状況にあわせ順次検討しています。また、防災計画については整備し消防署へ提出しています。
39.	不審者の侵入時の対応マニュアルを整備しており、警察官が来所して具体的な訓練の場も設けています。現在はカメラとブザーの設置と門扉の施錠をしています。今後カメラを2台増設予定とのことでした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a



[自由記述欄]	
<p>40. 標準的な保育の実施方法に関する手順書は「プールの入り方」「給食室の衛生管理」「おむつ交換」「おもちゃの消毒」等々、多くの項目を文書化しています。「子どもの権利を尊重するための私たちの保育」でもプライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が分かりやすい言葉で記載しています。</p> <p>41. 標準的な保育の実施方法については「年間指導計画」と「保育全体計画」により年2回（10月と2月）見直しを行っています。職員や保護者からの意見は乳児会議、幼児会議、保護者個人懇談等の機会に聴取し反映されています。</p> <p>42. アセスメントに基づく指導計画の作成は、担任が策定責任者となり「週日案」と「月案」にて反映し、園長と主任が確認をしています。アセスメント方法については様式があり、アセスメントに基づいた児童票を作成しています。</p> <p>43. 指導計画の見直しについては個別面談を年1回定期的（11月頃）に実施し、総括会議にて評価や見直しを行っています。見直された項目は分かりやすく赤字で記載し、次の指導計画に活かされています。</p> <p>44. 子どもに関する保育の実施状況の記録はアプリケーションシステムを導入し、施設専用ページを設けパスワードにてログインして共有しています。施設によってICT化の進捗に相違があり、石田保育園では紙ベースにファイルして鍵付ロッカーに保管しています。</p> <p>45. 個人情報保護規定に子どもの記録の保管や保存、廃棄、情報の提供に関する規定を記載しています。規定集は職員がいつでも閲覧できるように事務所に保管しています。個人情報の取扱いについては同意書を保護者に説明を行い同意をとっています。</p>	

### A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]	
<p>46. 小学校、児童館、こども支援センターや地域の他の保育園などと子どもたちの育ちについての情報交換を行い連携を図っています。「楽しく食べれる元気な子」を目標に食育に力を入れています。</p> <p>47. 温湿度計を各部屋に設置し換気は常に行っています。建物が老朽化する中でコーナー保育を行ったり、広い園庭を安全に利用できるようにしたり適切な環境を作っています。</p> <p>48. 子ども一人ひとりを受け止め自主性を重んじ主体的に遊べるようにしています。職員は子どもの発達を学ぶことで、個性を尊重し一人ひとりのこどもの発達に応じたかかわりを持つように心がけています。</p> <p>49. 子ども一人ひとりの生活リズムを考えて遊びや食事、睡眠の時間を保障できるようにしています。また、乳児期は特定の保育士が関わるようにしています。</p> <p>50. 保育所の周りの自然の環境を生かし、自然と触れ合う機会を大事にしています。子どもの希望に沿って子どもがやりたいことができるようにしています。</p>	

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a

[自由記述欄]	
<p>51. 子ども一人ひとりの発達に合わせて個別の対応をしています。保護者とは連絡ノートや朝夕の送迎時に口頭で状態の確認を行っています。</p> <p>52. 基準を超えた職員を配置し子どもに十分関わられる環境を整えています。地域の消防署や警察とも連携をしています。感染症が流行する前までは高齢者施設との交流もありました。</p> <p>53. 自分にしたいことや遊びを選択し遊びに集中できる環境を整えています。遊びの場所を区切ったコーナー保育に取り組んでいます。</p> <p>54. 「私たちの保育」に障害のある子どもの保育に関する取り組みも記載しています。保育園から外部の機関に相談する場も活用しながら障害のある子どもを育てる不安の軽減に取り組んでいます。</p> <p>55. 一日の日課は決まっており、ゆとりを持って子どもに対応しています。長時間保育の子どもは在籍していません。</p> <p>56. 小学校や児童館、地域の関係機関と連携をして情報交換を行っています。各小学校に書類を提出し引継ぎを行っています。</p>	

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]	
<p>57. 「食事摂取基準」「保育所におけるアレルギー対応のガイドライン」等を基本に衛生管理に配慮し、子どもの健康管理を行っています。</p> <p>58. 健康診断は年2回、歯科検診は年1回実施し、結果は担任が把握し職員会議でも共有しています。</p> <p>59. 書面の提出してもらい、方が一の為に薬の預かりも行っていきます。食事トレーへの名前記載や台拭きも変える取り組みをしていますが、他の子どもや保護者への理解をはかるための取り組みは確認できませんでした。</p> <p>60. きのこが好きでない子どもが多い中で、保育園内できのこを栽培し、収穫、食事提供を行うことで、自然なかたちで食事に興味を持てるように取り組んでいます。保護者の試食会の機会も作っています。</p> <p>61. 調理担当職員が子どもと一緒に食事を摂り子どもの様子の把握を行っています。「白みそ」や「たたきごぼう」等、地域や季節の食材や食の文化も取り入れています。</p>	

## A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	a

[自由記述欄]	
<p>62. 個人懇談会を行い、個々の家庭の状況に応じて対応をしています。保護者にアンケートを実施し保護者会と話し合ったうえで外出行事を実施しています。クラス懇談会を年2回、個人懇談会を年1回実施しています。保護者の集まりである保護者会には園長、主任が参加することもあります。</p> <p>63. 日々の送迎時に園での様子を伝えと共に家庭での様子を聞いています。情報は職員会議で共有を行う事を基本としているが、内容によっては口頭で共有を行っています。</p> <p>64. 児童相談所や行政との連携、情報の共有を地域の保育所間でのネットワークでも行っています。外部講師による研修が法人で実施されており、保育園では伝達研修が行われています。</p> <p>65. 年2回職員ヒアリングの際に各自の自己評価を用いて振り返りを行っています。</p>	